

マグノリア グループホーム 令和6年度 第1回運営推進会議 報告書

開催日	令和6年5月16日（木）			
開催場所	グループホームマグノリア			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	0名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	1名	行政（市長寿社会課）	1名
事業所出席者	施設長		グループホーム職員	3名
	グループホーム管理者			
欠席者	利用者の家族、地域住民の代表1名			

- ・ 開会
 - ・ 新年度にて出席者の自己紹介挨拶
- ・ 利用状況報告について

5/1現在

入居者の状況	入居人数（18名） 男性（3名） 女性（15名）		
	要介護1（3名）	要介護2（6名）	要介護3（5名）
	要介護4（3名）	要介護5（1名）	平均介護度（2.6）
	年齢（平均 91.6歳）（最高齢 99歳、最若齢 82歳）		

れもんの家～要介護1（0名） 要介護2（4名） 要介護3（3名） 要介護4（2名） 要介護5（0名）
 すみれの家～要介護1（3名） 要介護2（2名） 要介護3（2名） 要介護4（1名） 要介護5（1名）

- ・ 3、4月の状況報告
 - ・ T・T様（女性）、A・S様（男性）、K・S様（女性）、T・K様（女性）：
4月17日コロナ感染
 - ・ S・H様（女性）、M・M様（女性）：4月18日コロナ感染
 - ・ M・M様：4月18日藤井政雄記念病院に入院。
 - ・ T・T様：4月22日藤井政雄記念病院に入院。
 - ・ K・T様：4月28日三朝温泉病院に入院。

事業所活動報告について

（1）3、4月活動状況

- ・ 別紙にて報告

（2）職員研修会等

- ・ 毎月栄養研修（コロナによるゾーニングで4月は書面研修）、
- ・ 夜間緊急時対応研修（ショートステイ連携訓練）毎月栄養研修、

<毎月定例としてあるもの>

- ・ 第1水曜：運営会議 ・ 第1木曜：感染委員会 ・ 第2月曜：事故防止委員会
- ・ 第4水曜：防災環境委員会 ・ 第3木曜：高齢者虐待防止、身体拘束適正化委員会

- ・ 第3金曜：サービス向上委員会 第2木曜：地域交流委員会、第2金曜：研修員会
- ・ 第1火曜：安全衛生委員会 ・ 毎月10日前後広報委員会 ・ 毎週月曜稼働調整会議
- ・ 中旬：各ユニット会議 ・ 月末：グループホーム係会議

・ ヒヤリハット報告について

(1) ヒヤリハット (3月：7件、4月：1件)

※ヒヤリハットは事故が起こる前に気付いたこと、起こっても利用者には変化がなかった場合のこと

	転倒 転落	表皮剥離	異食	喉詰め 誤嚥	離所	誤薬	情報共有 ミス	その他	医療 健康	利用者 トラブル
3月	3	0	1	0	0	0	0	3	0	0
4月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

(2) 事故ヒヤリ (3月：5件、4月：4件)

※事故とは起きてしまい利用者の観察が必要または治療が必要になったこと

	転倒 転落	表皮剥離	異食	喉詰め 誤嚥	離所	誤薬	情報共有 ミス	その他	医療 健康	利用者 トラブル
3月	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	3	打撲1	0	0	0	0	0	0	0	0

・ 意見交換

- ・ 図上訓練について体験談を言われ内容を聞かれる。
 - 年間、避難訓練2回、図上訓練（火災、水害）2回行っている事を説明し内容についてご指導お願いします。
- ・ 高校生の演奏会について関係や内容を聞かれる
 - 職員の家族さんの紹介にて、春休み等にボランティア活動を行っている事を伝える。
小学校の交流についての案内あり、西郷、河北小学校の学習会の交流や参加、運動会の参加を行っていた事も説明する。
- ・ コロナ感染について状態を聞かれる。
 - 症状がない方もあれば症状の重たい方もあった事を報告する。
居室対応で車椅子対応になってしまった時、体力低下を回復していくのが課題と説明する。
発症があると評判について気にされる事はある。
換気をいかにやっていくかが課題だった。
- ・ ヒヤリハットや事故ヒヤリについて事故を防ぐ為に、センサー設置し頼る事になってしまうがセンサーを外していく為の話し合いを持たれているか聞かれる。
 - ユニット会議等で事故ヒヤリについても話し合いを行い、その際に、必要か外せるかを、話し合っている事を伝える。

次回開催予定：令和6年7月17日（水）13：30～14：30